



▲受賞作品を朗読する佐藤さん(左)と若松さん(右)



▲受賞者一人一人に表彰状が手渡された表彰式

## 入賞された北秋田市民の方々

### ☆文部科学大臣賞

【小学生の部】	「しゅくだい」	前田小1年	若松	璃胡
【中・高校生の部】	「君といつしよに」	鷹巣中3年	佐藤	嶺

### ☆国民文化祭実行委員会会長賞

【中・高校生の部】	森吉中2年	菅原	亜子
-----------	-------	----	----

### ☆第29回国民文化祭北秋田市実行員会会長賞

【小学生の部】	大阿仁小1年	伊藤	颯汰
---------	--------	----	----

### ☆日本現代詩人会会長賞

【中・高校生の部】	阿仁中2年	吉田	早良
-----------	-------	----	----

### ☆日本詩人クラブ会長賞

【小学生の部】	綴子小4年	畠山	陸斗
【中・高校生の部】	阿仁中3年	福森	樹

### ☆秋田県現代詩人協会会長賞

【小学生の部】	前田小3年	西根	若菜
---------	-------	----	----

### ☆詩の国あきた詩人賞

【小学生の部】	鷹巣西小5年	成田	風花
---------	--------	----	----

## 若松さんと佐藤さんが文部科学大臣賞を受賞

オープニングのあと、行われた表彰式では、全国各地から応募された4600編の作品の中から、文部科学大臣賞や国民文化祭実行委員会会長賞、秋田県知事賞、北秋田市市長賞などに入賞した、合わせて37人の受賞者に表彰状が授与されました。このうち、最高賞の文部科学大臣賞は、前田小学校1年の若松璃胡さん、鷹巣中学校3年の佐藤嶺さん、秋田市鶴巻大さんが受賞しました。

審査委員を代表し、日本現代詩人会の朝倉宏哉・文芸祭現代詩大会審査委員長は「最終審査委員は、日本

現代詩人会・日本詩人クラブ・秋田県現代詩人協会からそれぞれ3人の計9人が3部門に分かれ、作者や出身が分からない状態にして作品のみで審査を行った。後日結果を見て、秋田県の入賞者が飛びぬけて多く、特に秋田の小・中学生が優れた詩を書いているというのを感じた。言葉の力は生きるエネルギーであり、そこに詩を書く意味があると思う。今大会の開催により、秋田の地に新しい風が吹いたことが審査委員として心強く思う」などと感想を述べ、このあと、文部科学大臣賞を受賞した3部門の作者が、自身の作品を朗読して受賞作品を披露しました。

## 多くの催しで全国からの来場者をおもてなし

歓迎アトラクションでは、はじめに秋田北鷹高校書道部による書道パフォーマンスが披露され、縦5メートル・横7メートルの一枚の大きな紙に、8人の部員が、音楽に合わせて軽快に筆を走らせ、学校生活や日常生活の中で生まれてくる感謝の言葉を書き表現しました。

このあと、秋田県現代詩人協会の福司満・副会長が「秋田の県北だけでも約50種類ある獅子踊りの大半は三角関係を表しているが、綴子の獅子踊りは水不足や疫病の祈願である」などと紹介しながら、「愛と恋の『獅子踊り』』という詩の朗読と、綴子大太鼓上町保存会による獅子踊りが披露されたほか、「地域文化と詩、方言と風土」をテーマに、タレントの伊奈かつべいさんと、詩人のあゆかわのぼるさんによる記念対談が行われ、方言を交えながら秋田や東北について面白おかしく語られる対談に、会場は笑いに包まれました。

ファイナーレでは、今回の現代詩大会開催地である鹿兒島県南九州市への引き継ぎが行われ、最後は北秋田市出身の作曲家・成田為三の代表曲「浜辺の歌」を参加者全員で合唱し、現代詩の祭典を閉じました。



駐車場では大太鼓の演奏と特産品を販売



会場の一室に設けられた畠山義郎特別展



# 文芸祭現代詩大会

国民文化祭あきた2014・現代詩フェスティバル「文芸祭現代詩大会」が、10月26日に文化会館で開催され、約500人が来場し、盛大に行われました。

## 国民文化祭あきた2014

## 畠山義郎氏の詩と駒踊りで華やかに開幕

オープニングでは、「駒踊りと朗読」と題して、元合川町長で詩人としても知られる故・畠山義郎氏の「幻想―踊る駒―」を、秋田北鷹高校演劇部の関俊平さんと多賀谷美穂さんが朗読したあと、上杉獅子踊り保存会の迫力ある駒踊りでオープニングを飾りました。

このあと、主催者を代表して文化庁芸術文化課の加藤敬課長が「題材とする対象と深く向き合い、自らの心を見つめ、選り抜かれた言葉によつて様々な情感を伝える現代詩は素晴らしい芸術表現の一つ。詩の世界を愛する全国の方々が今後も優れた作品を創作されることを心から期待する」などあいさつ。

続いて、津谷市長は「文化継承活動に励まれている方々や次世代を担う若者が、文化の力を再確認する国民文化祭。県内各地で様々な文化交流がされているが、当市で現代詩大会が開催されることになったのは、先に披露された畠山義郎氏の功績が大きく、改めてその偉大さを実感し、その功績に深く敬意を表する。この大会が今後の現代詩の更なる発展に繋がり、文化振興をより一層推し進める契機となることを期待する」などあいさつを述べました。